

## 令和3年度 社会福祉法人「じねんじょ」事業報告

### 1 法人（本部）事業報告


- ① 法人にとって基幹部門の生活介護事業の安定的な運営が重要な課題であったが、令和3年度には生活介護サービス事業所「だいち」が新設され、生活介護事業全体の利用収容能力を高めることができ、そのことによって安定的な運営基盤ができた。
- ② 「利用者も増え、職員も増える」ひと回り大きくなる、そのような意味で本年度は「変わる！」の起点の年度とした。

10月より各事業所の管理者の若返りをした。そのことで組織の見直し、それぞれが役割を持ち、働きやすく魅力ある職場づくりの取り組みをした。
- ③ 法人の理念や諸規程、人権に関すること及び個人情報等の取扱いなどについて、諸規定を見直し適正な運営と研修等を通して職員教育をした。

就業規則などについては、委託契約をしている社会保険労務士に依頼して職員研修をした。
- ④ 職員連絡網について、迅速かつ省力的に連絡がとれる仕組みとしてLINE活用をした。
- ⑤ 地域貢献及び公益的な貢献活動について、R2年度後半期より山口県重症心身障害児者を守る会が業務委託されている、医療的ケア児養育家族ピアサポート事業の事務局的支援を継続した。地域における様々な福祉課題、生活課題に対して、関係機関などと連携・協働を図る下関市社会福祉法人地域公益活動推進協議会の活動をした。
- ⑥ ICT（情報通信技術）等の有効活用を含め研究については、メンバーのコミュニケーション支援として音声入力などのアプリや、さまざまな機器の活用について他機関の理学療法士に依頼して職員と共に導入をした。

定期的に開催しているJマルシェの取り組みに、メンバーの能力や特性に応じた工夫し、例えば、スイッチを活用して本人がコーヒー豆挽き「やったー！」感を味わう活動をした。（生活介護サービス事業所）
- ⑦ ノーリフティングケアについては、メンバーの体を守り本人なりの自立を促し、職員（介助者）の体を守りメンバーに寄り添うことを目的にしているが、研修や実体験を重ねてみたがより良い成果は出ていない。
- ⑧ 業務継続計画（BCP）の策定について、感染症や自然災害が発生した場合、利用者に対して必要なサービスが安定的・継続的に提供するために、令和5年3月までに策定が義務付けられているが策定中である。

みんな  
つながって  
いる



# 令和3(2021)年度 月別利用状況 【生活介護サービス事業所じねんじよ 5月～利用定員20名】

【事業報告：生)じ1-1】

項目	令和3年												令和4年			合計 (令和3年度)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
利用者数	695	377	457	411	402	405	428	403	414	370	363	436	5,161			
(平日)	2	1	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	11			
(土曜日等)	697	378	457	412	403	406	428	404	415	371	364	437	5,172			
延べ利用者数(人)	12	10	7	8	12	11	8	7	4	10	5	14	108			
病欠・家庭訪問	4	0	0	0	3	0	4	0	1	8	0	0	20			
入院にて欠席 (実入院日数)	3	6	3	3	8	5	1	1	8	6	2	3	49			
不定期ショートステイ・他施設	10	19	12	12	13	15	12	19	10	28	27	30	207			
その他(定期定診・都合・天候など)	29	35	22	23	36	31	25	27	23	52	34	47	384			
延べ欠席者数(人)	21	18	22	20	20	20	21	20	20	19	18	22	241			
(平日)	2	1	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	11			
(土曜日等)	23	19	22	21	21	21	21	21	21	20	19	23	252			
延べ開所日数	30.3	19.9	20.8	19.6	19.2	19.3	20.4	19.2	19.8	18.6	19.2	19.0	20.5			
(平日平均利用者数)	33.1	20.9	20.8	20.6	20.1	20.3	20.4	20.2	20.7	19.5	20.2	19.8	21.4			
利用率(実績/利用計画)	96.0%	91.5%	95.4%	94.7%	91.8%	92.9%	94.5%	93.7%	94.7%	87.7%	91.4%	90.3%	93.1%			

※入院日数については、利用計画において欠席した日数とする。(土・日は含まない)

給食数	535	300	366	327	326	307	323	300	312	301	297	338	4,032
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------

## 【事業報告】

- 令和3年度は4月に新卒者3名が新規利用開始し、6月に3名の退所(入所1名、他施設移行2名)があり、人数的には大きな変動はない
- 5月の生活介護サービス事業所だいちのオープンと共に、定員30名から20名に変更しサービス提供している
- これまでの障がい・特性別のグループ編成から、本人の趣味趣向に重きを置いてグループ編成で活動を展開している
- 令和4年に入ってからの欠席日数の増加は、事前のコロナ感染症対策や、濃厚接触者の該当による自宅待機期間が増えたためである
- 昨年度に引き続き、可能な限りでの訪問やリモートの活動を提案し、通所できなくてもサービス提供できる手段を考え実施した
- メンバーにとっても大きな環境の変化があった1年だったが、大きく影響されることもなく、比較的体調も安定し利用に繋がっている
- 今年度の目標として、新館だいちでJマールシェを毎月開催することで、地域に根付かせることを意識して取り組んできたが、コロナも影響し、思うように進まなかった。中止をすることよりも、どうしたら開催できるかを考えながら実施できた点では、良かったように思う。

H30	令和1	令和2	令和3
6,796	6,863	6,696	5,161
26	24	47	11
6,822	6,887	6,743	5,172
252	330	268	108
103	86	33	20
201	264	113	49
270	338	438	207
826	1,018	852	384
242	240	237	241
26	22	15	11
268	262	252	252
25.5	26.3	26.8	20.5
28.1	28.6	28.3	21.4
89.2%	87.1%	88.7%	93.1%
4,897	4,484	4,759	4,032

令和3(2021)年度 月別利用状況 【生活介護サービス事業所だいち 5月開所 利用定員20名】

【事業報告(生)だ2-1】

項目	令和3年												令和4年			合計 (令和3年度)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
利用者数		198	246	217	185	198	233	218	219	210	170	206	2,300			
(平日)																
(土曜日等)		1	0	1	0	1	0	1	1	2	1	1	9			
延べ利用者人数(人)		199	246	218	185	199	233	219	220	212	171	207	2,309			
病欠・家庭訪問		10	13	14	28	16	9	13	15	9	11	18	156			
不定期ショートステイ・他施設		4	2	2	2	4	8	7	6	2	0	0	37			
定期受診		4	3	9	3	7	6	7	8	5	5	6	63			
入院にて欠席(要入院日数)		0	2	2	18	16	0	2	0	0	0	0	40			
その他(都合・天候など)		3	12	6	12	12	9	4	4	13	41	47	163			
延べ欠席者数(人)		21	32	33	63	55	32	33	33	29	57	71	459			
開所日数(日)		18	22	20	20	20	21	20	20	19	18	22	220			
(平日)		1	0	1	0	1	0	1	1	1	1	1	8			
(土曜日等)																
延べ開所日数		19	22	21	20	21	21	21	21	20	19	23	228			
平均利用者数(人)		10.5	11.2	10.4	9.3	9.5	11.1	10.4	10.5	10.6	9.0	9.0	10.1			
(平日平均利用者数)		11.1	11.2	10.9	9.3	10.0	11.1	11.0	11.0	11.2	9.5	9.4	10.5			
利用率(実績/利用計画)		90.4%	88.5%	86.8%	74.6%	78.3%	87.9%	86.9%	86.9%	87.9%	74.9%	74.4%	83.4%			
給食数		146	172	152	122	128	148	135	117	125	99	110	1,454			

※入院日数については、利用計画において欠席した日数とする。(土・日は含まない)

【事業報告】

- 令和3年5月に生活介護サービス事業所だいち開所。生活介護サービス事業所じゅんじょから移行した利用者14名、新卒者3名の17名でスタートし、6月に新規利用者1名増え、登録者は18名となった。
- 8月9月はコロナのワクチン接種の副反応による休み、2月以降はコロナ感染予防対策のため、長期間にわたって自宅でご過ごされる方がおられ、出席率の低下につながっている。
- 新規建物を活かして、地域交流の具体的な取り組みとして、月1回Jマルシェを開催した。SNSツール(インスタグラム、フェイスブック)を活用し、地域に向けて活動の発信を始めた。コロナ禍でもできる工夫をしながら、次年度も継続し、利用者の強みを活かした活動、利用者主体の地域交流活動を展開していきたい。
- 本人の趣味趣向に重きを置いたグループ編成で活動を行っているため、障害の特性がさまざまな利用者が混在しており、集団の活動の中で、個々の特性に応じた支援の難しさや、環境設定の難しさを感じている。専門性の高い知識や技術が必要とされるため、個々の支援の質の向上を図っていきたい。

令和3年度 月別利用状況 【むく】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	1日当利用数
利用者数	118	103	97	102	135	87	86	88	94	74	53	103	1140	4.7
欠席者数	3	2	5	6	1	7	7	8	6	3	2	1	51	2.2
合計	121	105	102	108	136	94	93	96	100	77	55	104	1191	4.5
欠席者数	23	16	38	30	24	31	38	27	28	49	54	29	387	1.5
(放課後・休日利用)	放99・休32	放96・休9	放97・休5	放65・休43	放0・休136	放87・休7	放86・休7	放85・休11	放83・休17	放48・休29	放52・休3	放44・休60	放832・休359	放69.9% 休30.1%
むく利用率	84.0%	86.8%	72.9%	78.3%	85.0%	75.2%	71.0%	78.0%	78.1%	61.1%	50.5%	78.2%	75.5%	

※入院日数については、利用計画において欠席した日数とする。(土・日等は含まない)

開所日数	36	5	0	34	120	9	0	3	16	33	1	66	323	1日当食数
平日	21	18	22	20	20	20	21	20	20	19	18	22	241	20.1
土曜日	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	23	1.9
合計	23	20	24	22	21	22	23	22	22	21	20	24	264	22.0

【事業報告】 ○「むく」(放課後等デイサービス)の登録利用者等は、年度初め33名登録であったが、9月以降から転居や別事業所利用、利用控えなどで4名減となった。○コロナ禍ということで家庭においても感染拡大予防に努めているが、コロナ感染関係で学校家庭学習日などの日は利用控え現象があった。○1ヶ月に利用日数が4日間以下の利用者が22名あり、内6名が夏休みなどの長期休暇のみの利用である。

○利用実態をするには、相談支援員による「利用計画書」の作成がされ、各利用する事業所と「利用契約」を交わします。よって、契約以外に利用欠席があったと誤って利用補充を柔軟にすることが出来ません。欠席率の高い「むく・むくこ」は入院等や体調不良で休みが続くと大きく収入に影響があります。

令和3年度 月別利用状況 (むくこ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	1日当利用数
利用者数	91	72	92	97	100	109	97	91	108	101	95	99	1152	4.8
居宅訪問	1				1								2	
合計	92	72	92	97	101	109	97	91	108	101	95	99	1154	4.8
欠席者数	30	30	28	22	30	24	30	39	17	25	32	47	354	1.5
むくこ利用率	75.4%	70.6%	76.7%	76.7%	77.1%	82.0%	76.4%	70.0%	86.4%	80.2%	74.8%	67.8%	76.5%	

※入院日数については、利用計画において欠席した日数とする。

開所日数	21	18	22	20	20	20	21	20	20	19	18	22	241	1日当食数
平日	21	18	22	20	20	20	21	20	20	19	18	22	241	20.1
土曜日														
合計	21	18	22	20	20	20	21	20	20	19	18	22	241	20.1
欠席者数	55	38	48	50	52	49	54	57	74	72	65	67	681	2.8

【事業報告】 ○出席状況等について、コロナ禍であるが平均76.5%の利用であった。(昨年度75.6%)  
○年長児が4名で就学に向けて支援をした。 ○児童の発達状況を確認し支援の充実を図った。  
○医療的ケア児童(重症児以外)は2名の利用があり、内1名は、就学に向けて単独で過ごす事が出来るように支援した。  
○定例の歯科医師による歯科検診とともに歯磨き、口腔指導などをした。

令和3年度 月別利用状況 【ヘルパーステーションふわり】

項目	令和3年												令和4年			合計 (令和2年度)	割合
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
	居宅介護	114.25	97.75	96.25	88.5	87	106	134.25	126.25	138	123	122.5	162.25	1,396	61.1%		
同行援護	30	27	20.5	14.5	25.5	20	22	16.5	29.5	11	28.5	26.5	272	11.9%			
重度訪問介護	37	30	47	36	42	38	36	36	37	15	27	36	417	18.3%			
移動支援	1.5	15.5	18	21.5	18.5	19	20.5	20	16.5	20	13	15.5	200	8.7%			
合計	182.75	170.25	181.75	160.5	173	183	212.75	198.75	221	169	191	240.25	2,284	100.0%			

(延べ時間)

【事業報告・所見】

- 本年度は新規利用者4名、家庭の状況により再度利用を開始された方が1名おられた。
- 新型コロナウイルスの流行により感染対策の難しい方への外出支援は積極的に行うことができなかった。利用者の気分転換を図ること、今後の外出に備え一人ひとりの楽しみを発見する目的で、じねんじよのフロアを借りて余暇支援を行った。それにより、同行援護や移動支援のニーズが安定的にあった。

令和3年度 月別利用状況 【相談支援事業所じねんじよ】

項目	令和3年												令和4年			合計 (令和3年度)	割合
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
	指定特定相談〔計画〕	2	2	1	2	2	4	2	3	1	8	4	8	39	13.9%		
指定特定相談〔モニタリング〕	11	9	11	13	3	12	7	8	9	6	3	7	99	35.4%			
障害児相談〔計画〕	8	7	1	2	5	4	4	3	7	5	12	7	65	23.2%			
障害児相談〔モニタリング〕	5	7	9	9	13	7	5	7	3	4	1	7	77	27.5%			
合計	26	25	22	26	23	27	18	21	20	23	20	29	280	100.0%			

【事業報告・所見】

- 本年度の新規契約者は児童5名、成人4名であった。児童について、心疾患のある児で保育園から入園に際してのコーディネートをしてほしいという依頼があり、介入し、その後障害児相談につながった。
- 令和3年度も医療的ケア児等コーディネーターの業務の一つとして、医療的ケア児養育家族支援事業の医療的ケア児家族相談会及び交流会の実施のサポートをさせていただいた。この度は3回実施することができ、昨年度と同様家族同士のつながりの機会をなつた。